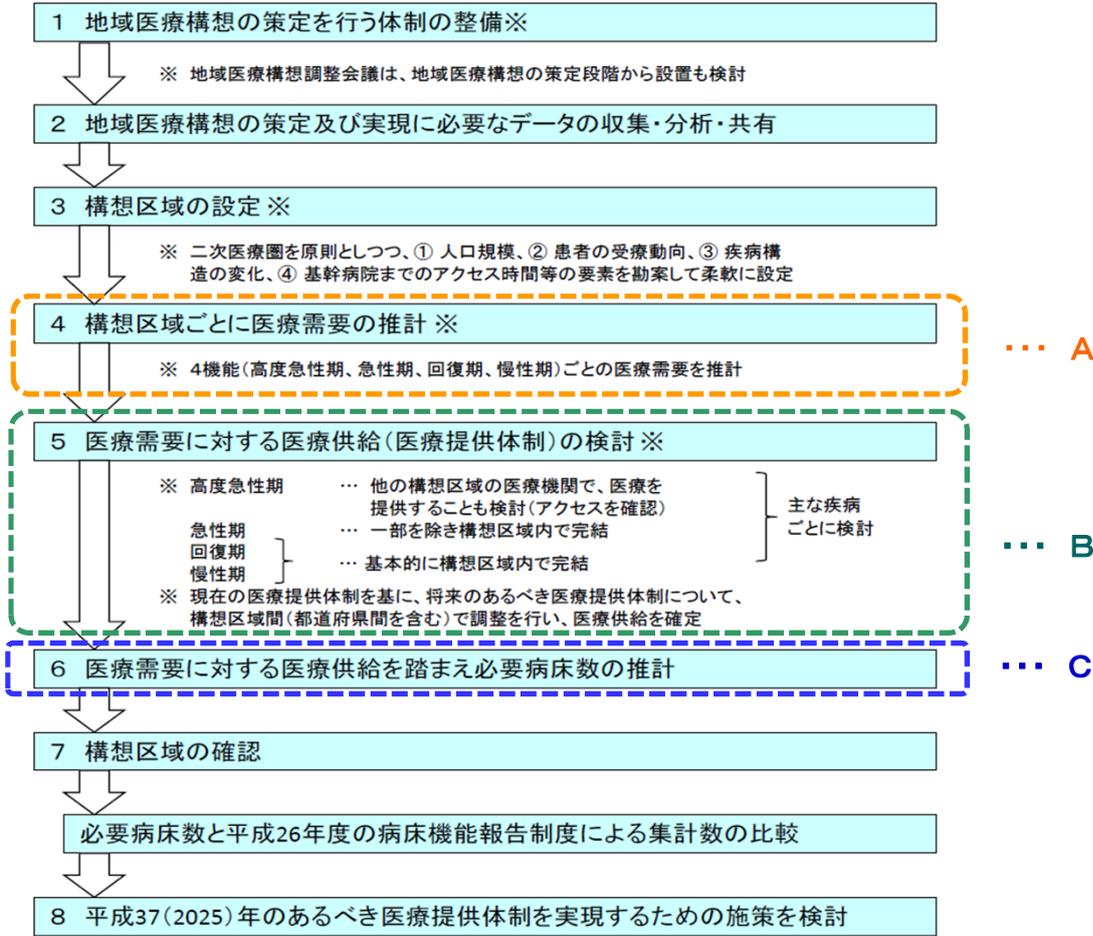


◆ 地域医療構想の策定プロセス



(地域医療構想策定ガイドラインP6より作成)

◆ 医療需要に対する医療供給を踏まえた病床の必要量(必要病床数)の推計

I 都道府県の構想区域ごとに、患者住所地に基づき推計した医療需要(①)と、現在の医療提供体制が変わらないと仮定した推定供給数(他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したもの)(②)を比較する。

II 都道府県は、関係する都道府県や都道府県内の医療関係者との間で供給数の増減を調整し、将来のあるべき医療提供体制を踏まえた推定供給数(③)を確定する。

III 推定供給数(③)を病床稼働率で除して得た数を、各構想区域における平成37年(2025年)の病床の必要量(必要病床数)(④)とする。

図7 各構想区域における病床の機能区分ごとの医療需要に対する医療供給(医療提供体制)の状況(脳卒中、心筋梗塞等の主な疾病についても同様の表を作成)

推計年度 平成37年(2025年)

	2025年における	2025年における医療供給(医療提供体制)		
	医療需要 (当該構想区域に居住する患者の医療需要)(①)	現在の医療提供体制が変わらないと仮定した場合の他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したものの(②)※	将来のあるべき医療提供体制を踏まえ他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したものの(③)	病床の必要量(必要病床数)(③を基に病床利用率等により算出される病床数)(④)
高度急性期 急性期 回復期 慢性期	A 患者住所地に基づく推計	医療機関所在地に基づく推計	B 供給数の調整 構想区域で議論	C 病床稼働率で除して得た数

※ 高度急性期、急性期、回復期及び慢性期それぞれにおける②に関して、厚生労働省がデータ提供の技術的支援

(地域医療構想策定ガイドラインP22,23より作成)

構想区域における需要と供給の推計 (2025年 パターンA)

	2013年度の医療需要 (人/日)	2025年における		2025年における医療供給(医療提供体制)	
		医療需要 (当該構想区域に居住する患者の医療需要) (人/日)	現在の医療提供体制が変わらないと仮定した場合の他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したものの (人/日)	将来のあるべき医療提供体制を踏まえ他の構想区域に所在する医療機関により供給される量を増減したものの	病床の必要量(必要病床数)(病床利用率等により算出される病床数)
賀茂	高度急性期	14.5	45.4	15.4	
	急性期	75.3	145.2	82.6	
	回復期	154.8	243.8	172.2	
	慢性期 パターンA	247.5	133.1	206.9	
	在宅医療等	797.0	1,031.1	999.1	
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	295.0	428.0	343.2	
	小計	1,289.2	1,598.7	1,476.3	
熱海伊東	高度急性期	58.1	77.0	62.8	
	急性期	219.2	264.7	251.2	
	回復期	239.3	321.2	282.2	
	慢性期 パターンA	195.8	200.3	148.2	
	在宅医療等	1,013.6	1,666.6	1,459.1	
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	418.8	735.2	563.8	
	小計	1,726.1	2,529.8	2,203.4	
駿東田方	高度急性期	437.0	380.4	457.1	
	急性期	1,282.6	1,221.3	1,447.0	
	回復期	1,444.8	1,397.7	1,689.4	
	慢性期 パターンA	1,249.3	858.2	973.7	
	在宅医療等	5,026.0	7,310.5	7,625.0	
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	2,420.4	3,270.6	3,401.7	
	小計	9,439.7	11,168.0	12,192.3	
富士	高度急性期	138.3	215.2	155.9	
	急性期	505.9	675.6	596.3	
	回復期	557.7	772.6	707.8	
	慢性期 パターンA	672.8	561.3	574.3	
	在宅医療等	2,509.6	3,783.9	3,885.5	
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	1,212.5	1,611.6	1,754.4	
	小計	4,384.3	6,008.7	5,919.8	
静岡	高度急性期	581.5	476.0	580.2	
	急性期	1,310.8	1,372.8	1,450.5	
	回復期	1,085.1	1,232.7	1,260.9	
	慢性期 パターンA	1,477.8	1,078.1	1,198.1	
	在宅医療等	5,707.0	8,198.4	8,367.4	
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	2,844.4	3,845.3	3,920.8	
	小計	10,162.3	12,357.9	12,857.1	
志太榛原	高度急性期	227.4	299.2	240.6	
	急性期	698.8	884.1	797.4	
	回復期	728.6	949.3	864.1	
	慢性期 パターンA	675.6	600.9	512.9	
	在宅医療等	3,127.3	4,663.1	4,461.8	
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	1,272.5	1,832.2	1,674.4	
	小計	5,457.6	7,396.6	6,876.8	
中東遠	高度急性期	167.5	266.9	191.6	
	急性期	607.3	842.5	713.7	
	回復期	538.1	738.5	662.7	
	慢性期 パターンA	653.9	542.4	405.9	
	在宅医療等	2,726.8	4,312.6	4,041.2	
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	1,036.8	1,419.6	1,377.5	
	小計	4,693.6	6,702.9	6,015.1	
西部	高度急性期	626.9	594.5	666.7	
	急性期	1,561.0	1,634.8	1,795.2	
	回復期	1,250.5	1,428.9	1,520.2	
	慢性期 パターンA	1,928.7	1,146.8	1,293.1	
	在宅医療等	6,460.0	9,882.4	10,167.1	
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	3,064.5	4,162.0	4,275.2	
	小計	11,827.1	14,687.4	15,442.3	
県計	高度急性期	2,251.3	2,354.6	2,370.3	
	急性期	6,261.0	7,040.9	7,133.9	
	回復期	5,999.0	7,084.6	7,159.4	
	慢性期 パターンA	7,101.4	5,121.2	5,313.2	
	在宅医療等	27,367.3	40,848.9	41,006.4	
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	12,564.8	17,304.6	17,311.1	
	総計	48,980.0	62,450.2	62,983.2	

供給数の調整
↓
構想区域で議論

病床稼働率で
除して得た数
高度急性期:75%
急性期:78%
回復期:90%
慢性期:92%

A B C

※単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。
(厚生労働省「地域医療構想策定支援ツール」より作成)

【病床数ベース】 構想区域における需要と供給の推計 (2025年 パターンA)

	2013年度の 必要病床数 (床)	2025年における		2025年における医療供給(医療提供体制)	
		医療需要 (当該構想区域に居住する 患者の医療需要) (床)	現在の医療提供体制が変わら ないと仮定した場合の他の構 想区域に所在する医療機関に より供給される量を増減したも の (床)	将来のあるべき医療提供体 制を踏まえ他の構想区域に 所在する医療機関により供給 される量を増減したもの	病床の必要量(必要病床数) (病床利用率等により算出さ れる病床数)
賀茂	高度急性期	19	61	21	
	急性期	97	186	106	
	回復期	172	271	191	
	慢性期 パターンA	269	145	225	
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分				
	小計	557	662	543	
熱海伊東	高度急性期	77	103	84	
	急性期	281	339	322	
	回復期	266	357	314	
	慢性期 パターンA	213	218	161	
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分				
	小計	837	1,017	880	
駿東田方	高度急性期	583	507	609	
	急性期	1,644	1,566	1,855	
	回復期	1,605	1,553	1,877	
	慢性期 パターンA	1,358	933	1,058	
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分				
	小計	5,190	4,559	5,400	
富士	高度急性期	184	287	208	
	急性期	649	866	764	
	回復期	620	858	786	
	慢性期 パターンA	731	610	624	
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分				
	小計	2,184	2,622	2,383	
静岡	高度急性期	775	635	774	
	急性期	1,681	1,760	1,860	
	回復期	1,206	1,370	1,401	
	慢性期 パターンA	1,606	1,172	1,302	
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分				
	小計	5,268	4,936	5,337	
志太榛原	高度急性期	303	399	321	
	急性期	896	1,133	1,022	
	回復期	810	1,055	960	
	慢性期 パターンA	734	653	558	
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分				
	小計	2,743	3,240	2,861	
中東遠	高度急性期	223	356	256	
	急性期	779	1,080	915	
	回復期	598	821	736	
	慢性期 パターンA	711	590	441	
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分				
	小計	2,311	2,846	2,348	
西部	高度急性期	836	793	889	
	急性期	2,001	2,096	2,302	
	回復期	1,389	1,588	1,689	
	慢性期 パターンA	2,096	1,246	1,406	
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分				
	小計	6,323	5,723	6,285	
県計	高度急性期	3,002	3,139	3,160	
	急性期	8,027	9,027	9,146	
	回復期	6,666	7,872	7,955	
	慢性期 パターンA	7,719	5,567	5,775	
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	0	0	0	
	総計	25,413	25,605	26,037	

供給数の調整
↓
構想区域で議論

病床稼働率
高度急性期:75%
急性期:78%
回復期:90%
慢性期:92%

A B C

※単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。
(厚生労働省「地域医療構想策定支援ツール」より作成)

構想区域における需要と供給の推計（2025年 パターンB）

		2013年度の 医療需要 (人/日)	2025年における		2025年における医療供給(医療提供体制)	
			医療需要 (当該構想区域に居住する 患者の医療需要) (人/日)	現在の医療提供体制が変わら ない仮定した場合の他の構 想区域に所在する医療機関に より供給される量を増減したも の (人/日)	将来のあるべき医療提供体 制を踏まえ他の構想区域に 所在する医療機関により供給 される量を増減したもの	病床の必要量(必要病床数) (病床利用率等により算出さ れる病床数)
賀茂	高度急性期	14.5	45.4	15.4		
	急性期	75.3	145.2	82.6		
	回復期	154.8	243.8	172.2		
	慢性期 パターンB	247.5	139.9	222.4		
	在宅医療等	797.0	1,024.3	983.7		
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	295.0	428.0	343.2		
	小計	1,289.2	1,598.7	1,476.3		
熱海伊東	高度急性期	58.1	77.0	62.8		
	急性期	219.2	264.7	251.2		
	回復期	239.3	321.2	282.2		
	慢性期 パターンB	195.8	224.5	169.5		
	在宅医療等	1,013.6	1,642.5	1,437.8		
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	418.8	735.2	563.8		
	小計	1,726.1	2,529.8	2,203.4		
駿東田方	高度急性期	437.0	380.4	457.1		
	急性期	1,282.6	1,221.3	1,447.0		
	回復期	1,444.8	1,397.7	1,689.4		
	慢性期 パターンB	1,249.3	983.0	1,110.3		
	在宅医療等	5,026.0	7,185.8	7,488.5		
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	2,420.4	3,270.6	3,401.7		
	小計	9,439.7	11,168.0	12,192.3		
富士	高度急性期	138.3	215.2	155.9		
	急性期	505.9	675.6	596.3		
	回復期	557.7	772.6	707.8		
	慢性期 パターンB	672.8	621.8	634.0		
	在宅医療等	2,509.6	3,723.4	3,825.8		
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	1,212.5	1,611.6	1,754.4		
	小計	4,384.3	6,008.7	5,919.8		
静岡	高度急性期	581.5	476.0	580.2		
	急性期	1,310.8	1,372.8	1,450.5		
	回復期	1,085.1	1,232.7	1,260.9		
	慢性期 パターンB	1,477.8	1,194.5	1,320.4		
	在宅医療等	5,707.0	8,082.1	8,245.1		
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	2,844.4	3,845.3	3,920.8		
	小計	10,162.3	12,357.9	12,857.1		
志太榛原	高度急性期	227.4	299.2	240.6		
	急性期	698.8	884.1	797.4		
	回復期	728.6	949.3	864.1		
	慢性期 パターンB	675.6	678.7	585.8		
	在宅医療等	3,127.3	4,585.3	4,389.0		
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	1,272.5	1,832.2	1,674.4		
	小計	5,457.6	7,396.6	6,876.8		
中東遠	高度急性期	167.5	266.9	191.6		
	急性期	607.3	842.5	713.7		
	回復期	538.1	738.5	662.7		
	慢性期 パターンB	653.9	656.8	496.7		
	在宅医療等	2,726.8	4,198.2	3,950.3		
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	1,036.8	1,419.6	1,377.5		
	小計	4,693.6	6,702.9	6,015.1		
西部	高度急性期	626.9	594.5	666.7		
	急性期	1,561.0	1,634.8	1,795.2		
	回復期	1,250.5	1,428.9	1,520.2		
	慢性期 パターンB	1,928.7	1,377.1	1,537.3		
	在宅医療等	6,460.0	9,652.1	9,922.9		
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	3,064.5	4,162.0	4,275.2		
	小計	11,827.1	14,687.4	15,442.3		
県計	高度急性期	2,251.3	2,354.6	2,370.3		
	急性期	6,261.0	7,040.9	7,133.9		
	回復期	5,999.0	7,084.6	7,159.4		
	慢性期 パターンB	7,101.4	5,876.3	6,076.4		
	在宅医療等	27,367.3	40,093.7	40,243.1		
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	12,564.8	17,304.6	17,311.1		
	総計	48,980.0	62,450.2	62,983.2		

供給数の調整
↓
構想区域で議論

病床稼働率で
除して得た数
高度急性期:75%
急性期:78%
回復期:90%
慢性期:92%

A B C

※単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。
(厚生労働省「地域医療構想策定支援ツール」より作成)

【病床数ベース】 構想区域における需要と供給の推計(2025年 パターンB)

	2013年度の 必要病床数 (床)	2025年における		2025年における医療供給(医療提供体制)	
		医療需要 (当該構想区域に居住する 患者の医療需要) (床)	現在の医療提供体制が変わら ないと仮定した場合の他の構 想区域に所在する医療機関に より供給される量を増減したも の (床)	将来のあるべき医療提供体 制を踏まえ他の構想区域に 所在する医療機関により供給 される量を増減したもの	病床の必要量(必要病床数) (病床利用率等により算出さ れる病床数)
賀茂	高度急性期	19	61	21	
	急性期	97	186	106	
	回復期	172	271	191	
	慢性期 パターンB	269	152	242	
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分				
	小計	557	670	560	
熱海伊東	高度急性期	77	103	84	
	急性期	281	339	322	
	回復期	266	357	314	
	慢性期 パターンB	213	244	184	
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分				
	小計	837	1,043	904	
駿東田方	高度急性期	583	507	609	
	急性期	1,644	1,566	1,855	
	回復期	1,605	1,553	1,877	
	慢性期 パターンB	1,358	1,069	1,207	
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分				
	小計	5,190	4,694	5,549	
富士	高度急性期	184	287	208	
	急性期	649	866	764	
	回復期	620	858	786	
	慢性期 パターンB	731	676	689	
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分				
	小計	2,184	2,688	2,448	
静岡	高度急性期	775	635	774	
	急性期	1,681	1,760	1,860	
	回復期	1,206	1,370	1,401	
	慢性期 パターンB	1,606	1,298	1,435	
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分				
	小計	5,268	5,063	5,470	
志太榛原	高度急性期	303	399	321	
	急性期	896	1,133	1,022	
	回復期	810	1,055	960	
	慢性期 パターンB	734	738	637	
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分				
	小計	2,743	3,325	2,940	
中東遠	高度急性期	223	356	256	
	急性期	779	1,080	915	
	回復期	598	821	736	
	慢性期 パターンB	711	714	540	
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分				
	小計	2,311	2,971	2,447	
西部	高度急性期	836	793	889	
	急性期	2,001	2,096	2,302	
	回復期	1,389	1,588	1,689	
	慢性期 パターンB	2,096	1,497	1,671	
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分				
	小計	6,323	5,973	6,551	
県計	高度急性期	3,002	3,139	3,160	
	急性期	8,027	9,027	9,146	
	回復期	6,666	7,872	7,955	
	慢性期 パターンB	7,719	6,388	6,605	
	在宅医療等 (再掲)在宅医療等のうち訪問診療分				
	総計	25,413	26,427	26,869	

供給数の調整
↓
構想区域で議論

病床稼働率
高度急性期:75%
急性期:78%
回復期:90%
慢性期:92%

A

B

C

※単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。
(厚生労働省「地域医療構想策定支援ツール」より作成)